

ふりがな 氏名	なかだ さとる	都道府県	富山県	
	中田 悟			
所属/肩書	富山国際大学附属高等学校 / 教諭			
私のESD活動	「研修旅行」を軸としたESDに関する学習計画			
関心・活動のSDGs	 産業と技術革新の基盤をつくろう	 住み続けられるまちづくりを	 つくる責任 つかう責任	 パートナリシップで目標を達成しよう

活動の概要

本校の研修旅行は、海外を含めた5～6コースから、生徒自身が行先を選択するシステムを取っています。12月の末に行われるこの旅行を有意義なものにするために、「総合的な学習の時間」を中心に、数年前からESDに関する学習活動を積極的に取り入れはじめました。長期的な学習計画の中で、ユネスコの理念やESDに関する基礎的な知識を学ぶとともに、生徒全員が「持続可能な開発」やSDGsと絡めたテーマを設定し、ポスターセッションや、学年向けの全体発表会、旅行後に作成する報告書の中などで、定期的にその研究成果を披露します。訪れる地域の諸課題について生徒が自主的に研究活動を行うことで、研修旅行というイベントが、生徒にとって単なる観光旅行ではなく、目的を持った研修活動となることを狙いとしています。

また本校では生徒全員に iPad が配備されており、この研究と発表会は、本校におけるICT機器を利用したアクティブラーニングの実践の場としても、非常に重要な位置づけとなっております。ICT機器を最大限活用しながらプレゼンテーションなどを作り上げていく生徒の様子は、彼らの適応力の高さを感じさせます。これらの活動の成果は、定期的な研修会を通じて外部に発信されており、生徒たちがそのように主体的に学習する様子が高い評価を受けました。

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

現在でも、本校の文化祭及び研修旅行は、「持続可能な開発」やユネスコのSDGsについて学び、それと関連したテーマを設定して、生徒自らが研究・発表することを活動の目標としています。これらの活動のクオリティを向上させ、生徒たちが自分から現代社会の諸課題に対して、解決方法を模索していくようにしていきたいと考えます。さらにそれらを、単なる学校行事における単発的な活動で終わらせるのではなく、生徒たちがその後も継続して、学校生活や社会活動の中で実践し、さらに周囲に向かって広げていけるような環境を構築していきたいと考えます。さし当たって生徒会顧問として、委員会組織や生徒会選挙方式の在り方を見直し、活発な生徒会活動の構築を目指しております。

また、私が顧問を務める新聞部では、これまでも幾度か、「持続可能な開発」に絡んだ特集を組んできました。本校新聞部の特集は、全国総合文化祭でも例年高い評価を得ており、さらに周辺中学校にも配布され、校外でも広い範囲で読まれています。これをさらに読む人に訴える内容に発展させていくために、ここで得た知識を最大限活用していきたいと思えます。